

令和6年度

江津市教育委員会 点検・評価報告書

令和7年12月

江津市教育委員会

1. 趣 旨

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部が改正、施行され、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、法第26条の規定に基づき、令和6年度事務の管理及び執行の状況について、学識経験者2名の意見を聴き、点検・評価を行なったものです。

2. 対象事業

本年の点検・評価の対象事業は、前年度である令和6年度分の主要な施策の実績を対象としました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和6年度教育委員会活動状況

対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 教育委員会の開催

定例会 12回 臨時会 0回

2 教育委員会議での審議状況

(1) 議決事項

○職員（教職員を含む）の人事に関すること

- ・令和6年度主任等の任免について
- ・江津市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- ・江津市人権・同和教育推進協議会委員の委嘱について
- ・江津市学校関係者評価委員の委嘱について
- ・江津市社会教育委員の委嘱について
- ・江津市図書館協議会委員の任命について
- ・教育委員会職員の任免について
- ・教職員人事について

○令和5年度江津市教育委員会点検・評価について

○教育委員会等規則の制定及び改廃について

- ・江津市立小、中学校の教職員の服務規則の一部改正について
- ・江津市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
- ・江津市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の施行に関する江津市教育委員会規則の制定について
- ・江津市教育委員会処務規程の一部改正について
- ・江津市水ふれあい公園水の国設置及び管理に関する条例施行規則の廃止について
- ・松林宗恵映画記念館管理に関する規則の廃止について
- ・江津市教育委員会文書管理規則及び江津市教育委員会処務規則の制定について

○江津市立小、中学校プール施設整備方針について

○江津市部活動の在り方に関する方針の改訂について

○令和7年度使用中学校教科用図書採択について

- 校区外就学許可について 小学生 7名 中学生 0名
- 校区外入学許可について 小学生 5名 中学生 3名

(2) 協議事項

- ・令和5年度教育委員会点検・評価報告書（案）について
- ・所管施設の廃止について

(3) 報告事項

- ・令和6年度6月補正予算について
- ・仮称西部統合小学校の建設について
- ・江津市中学校部活動地域連携指導員配置事業実施要綱の制定について
- ・江津市中学校部活動地域連携検討協議会設置要綱の制定について
- ・教職員の自家用自動車の校務使用に関する取扱基準の一部改正について
- ・6月市議会定例会の概要について
- ・江津市立小学校及び中学校教職員のハラスメント防止等に関する要綱の一部改正について
- ・江津市中学校文化連盟補助金交付要綱の制定について

- ・部活動実施における熱中症対策ガイドライン（令和6年7月）について
- ・令和6年度9月補正予算について
- ・9月市議会定例会の概要について
- ・相談箱の投函に係る対応等について
- ・全国学力・学習状況 江津市結果概要について
- ・江津市立小中学校における留守番電話機能の導入について
- ・1学期末の生徒指導関係調査結果について
- ・令和6年度12月補正予算について
- ・12月市議会定例会の概要について
- ・コミュニティ・スクールについて
- ・はたちの集いの実施状況について
- ・心の相談箱の廃止について
- ・島根県学力調査の結果概要について
- ・令和7年度公立高等学校入学者選抜（特色入学者選抜）について
- ・令和7年度当初予算の概要について
- ・令和6年度3月補正予算について
- ・令和7年度指導主事の体制について
- ・江津市立中学校拠点校部活動実施要綱の制定について
- ・江津市立中学校における部活動の地域連携・地域移行に係る方針について
- ・江津市水ふれあい公園水の国設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- ・松林宗恵映画記念館設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- ・江津市桜江体育施設設置条例の一部を改正する条例について

令和6年度教育委員会主要事業実施報告

対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

事業名	ページ
1 英語指導員招致事業	5
2 江津市教育研究会助成事業	6
3 不登校等支援事業	7
4 学校ICT環境整備事業	8
5 スクールソーシャルワーカー活用事業	9
6 指導主事配置事業	10
7 小学校教育施設整備事業	11
8 西部統合小学校建設事業	12
9 小学校特別支援学級運営費	13
10 学校支援員等配置事業（小学校）	14
11 中学校教育施設整備事業費	15
12 中学校教育施設整備事業費（繰越）	16
13 中学校特別支援学級運営費	17
14 学校支援員等配置事業（中学校）	18
15 学校給食費	19
16 物価高騰対策費（学校給食費）	20
17 社会人権・同和教育事業	21
18 人権教育推進事業	22
19 社会教育主事配置事業	23
20 図書館運営事業	24
21 社会教育活動費	25
22 ふるさと教育推進事業	26
23 放課後子ども教室推進事業	27
24 放課後児童クラブ事業	28
25 ふるさと・キャリア教育推進事業	29
26 教育の魅力化推進事業	30
27 子ども・若者総合相談窓口事業	31
28 埋蔵文化財発掘調査事業	32
29 総合市民センター費	33

1. 英語指導員招致事業

予算額 (円)	決算額(円)	財源内訳			
		国庫補助	地方債	その他	一般財源
23,393,041	21,916,089			1,137,544	20,778,545

ア、事業の目的・目標

外国から外国語指導助手を招致し、全小中学校を訪問することにより英語への意欲・ヒアリング能力・コミュニケーション能力を向上させることを目的とする。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

4名の外国語指導助手により、市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。

小学校で、3・4年生においては週に1回、5・6年生においては週に2回の英語活動および英語科の授業の補助を行い、英語に触れる機会を多く持つとともに英語を使ったやり取りを楽しむ活動を行った。

中学校においてはリスニング力・スピーキング力の向上のための授業補助の他、スピーチコンテストやパフォーマンステスト、英語検定受検者へのサポートを行った。

●小学校・学年別訪問授業時数 1,664 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1 年 生	0	0	0	0	0	0	0
2 年 生	0	0	0	0	0	0	0
3 年 生	26	39	30	40	70	30	35
4 年 生	26	42	33	36	72	32	35
5 年 生	58	70	67	75	140	61	70
6 年 生	58	70	69	75	141	62	70
特別支援学級	0	0	0	0	0	29	0
その他全校行事等	3	0	0	0	0	0	0
合 計	171	221	199	226	423	214	210

●中学校・学年別訪問授業時数 1,257 時間 (単位：時間)

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1 年 生	130	68	88	117
2 年 生	130	66	94	87
3 年 生	110	57	88	97
特別支援学級	30	10	36	37
その他全校行事等	1	11	0	0
合 計	401	212	306	338

○事業の実績

費 目	決算額 (円)	備 考
報酬	14,110,907	外国語指導助手報酬
共済費	2,367,195	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
報償費	10,500	記念品
旅費	1,217,310	学校訪問旅費、研修旅費、帰国来日旅費
需用費	212,414	教材用消耗品、備品等修繕費
役務費	182,710	退去に伴うハウスクリーニング等
使用料及び賃借料	2,169,790	住宅借上料
備品購入費	141,600	冷蔵庫 (2台)
負担金補助及び交付金	1,503,663	自治体国際化協会負担金
合計	21,916,089	

○事業の効果

小学校・中学校ともに英語の基礎的な表現について外国語指導助手との関わりを通じて学び、学習したことを使って自分の気持ちや考えを伝え合ったり、相手にたずねたりすることでコミュニケーションへの関心を高め、意欲的な活動へとつなげることができた。

市教研主催の英語ワークショップでは、児童生徒が主体的に英語を話せるようゲームの作成や当日運営を工夫した。

外国語指導助手が訪問することで日常的な英語使用場面の増加へとつながった。

ウ、評価及び課題

外国語指導助手の訪問により、児童生徒が生徒の英語に触れることができ、英語への興味が広がり、コミュニケーションへの意欲が高まった。

外国語指導助手が慣れない江津市での日常生活を不安なく過ごせるための支援を充実させる必要がある。

2. 江津市教育研究会助成事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
5,811,000	5,568,629		5,300,000		268,629

ア、事業の目的・目標

「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教員が主体的に取り組む各種事業を支援することにより、本市の教育の発展に寄与する。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

●江津市教職員資質向上研修

- ①演題 「一人ひとりの子どもが主語になる学校をつくる」
- ②講師 独立行政法人教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己 氏
- ③実施日時及び場所
令和6年8月21日(水) 9:30～
江津市総合市民センター
- ④参加者 江津市全教職員

○事業の実績

項目	決算額(円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	164,500
2. 島根県中学校校長会負担金補助	91,200
3. 島根県教頭会負担金補助	154,000
4. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	246,260
5. 江津市教育研究会研究補助	320,500
6. 児童文化振興費補助金	368,000
7. 小中音楽会児童生徒輸送費・楽器輸送費・会場借上料	430,020
8. 教職員研修会関係補助金(小中学校資質向上研修補助)	364,926
9. 江津市学校保健会補助金	160,000
10. 島根県学校保健会補助金	20,000
11. 外国語教育充実事業補助金	150,000
12. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
13. 総合学習に伴う補助金(小・中)	550,000
14. 平和学習に伴う補助金	767,500
15. 江津市ふるさと・キャリア教育補助金	800,000
16. 情報教育講演会開催補助金	105,000
17. 修学旅行等に伴う引率経費補助金	509,723
18. 人権・同和教育推進補助金	247,000
合計	5,568,629

※15の支出は社会教育費

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員が持つ使命感や責任感、知識や指導力などの資質能力に負うところが極めて大きいため、様々な研修等を行うことで、資質向上につながった。

ウ、評価及び課題

新型コロナウイルス感染症の影響もなくなり、例年並みの活動に戻っている。変化の激しい社会を生き抜いていける人材を育てていくためには、教職員自身が社会環境の変化を的確につかみ取り、その時々状況に応じた学びを提供できることが必要であり、柔軟に計画立案していくことが重要である。一方で、その活動内容はマンネリ化や、教職員に少なからず負担となっていると推測される。また、補助金の申請や実績報告についても内容が分かりにくく、事務負担も大きいことから、抜本的な改善が必要と思われる。

3. 不登校等支援事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
16,799,365	16,708,364			52,504	16,655,860

ア、事業の目的・目標

教育支援センター（あおぞら学園）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒への教育相談や体験活動、学習支援を行い、学校生活への復帰を支援する。

家に引きこもりがちな児童生徒に対しては、家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供するなどの支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。

イ、事業の内容、実績及び効果

教育支援センター運営事業

○事業の内容

- 運営体制 指導員14名
- 開設場所 江津市教育支援センター あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 月～金曜日 9:30～16:00
- 主な内容
 - ・不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携し、学習保障をしながら集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。
 - ・児童生徒の抱える悩みに寄り添い、教科指導や体験活動、相談等を通して児童生徒の心の安定、自己理解を図るとともに保護者の支援を行う。

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
報酬	10,789,854	指導員報酬(14人)
職員手当等	1,846,830	期末手当
共済費	1,276,449	雇用保険料、社会保険料、労災保険料
報償費	5,000	体験活動謝礼金
旅費	170,420	生徒指導連絡会、家庭訪問等
需用費	1,992,796	消耗品、コピー機パフォーマンス、光熱水費
役務費	237,835	電話料(固定電話・携帯電話)、自動車損害保険料
使用料及び賃借料	389,180	AED借り上げ料、公用車リース料
合計	16,708,364	

- ・利用者 小学生 6人 うち学校復帰 2人
中学生14人 うち学校復帰 7人

○事業の効果

個々の目標を設定し、集団生活への適応に向けて体験活動や学習支援を行ったことで学校への復帰に前向きな気持ちを持つことができた。

定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。

家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなった。

保護者の抱えている悩みに向き合い、継続して関わることで、保護者及び児童生徒の心の安定を図ることができた。

ウ、評価及び課題

家庭や学校以外に居場所を求めている子、学習に向きにくい体験的な活動には参加できる子など、子どもの実態、ニーズはさまざまであり、できる限りの柔軟な対応を行ってきた。

今後ますます多様化する子どものニーズに合わせるために、引き続ききめ細かな対応が可能な指導体制を整えていくことが必要である。また、教育支援センターでの学習や活動内容の評価への反映や、中学校卒業後の相談窓口や支援につなげていくため子ども・若者総合相談窓口や、第3の居場所「ときまち」との連携を深め、継続した支援を行えるよう検討が必要である。

4. 学校ICT環境整備事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
161,506,298	154,971,884	924,000		132,309,012	21,738,872

ア、事業の目的・目標

GIGAスクール構想の推進のため、教職員や子どもたちが安心して活用できるようにICT環境の整備を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

学校におけるICT活用を安全かつ円滑に進めるため、サーバや教職員用端末の更新、端末の各種設定や保守点検、通信環境の改善などICT環境を整える。

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
旅費	212,400	先進地視察
需用費	1,022,010	デジタル教科書ライセンス更新料、タブレット等修繕料
役務費	4,348,998	回線使用料、各種設定手数料
委託料	95,712,012	教育システムサーバ等更新、運用支援、保守点検委託料
使用料及び賃借料	5,143,084	サーバ、端末等借上料
工事請負費	1,287,000	インターネット回線導入工事
備品購入費	47,139,510	教職員用端末、図書用端末、大型モニター等更新
負担金補助及び交付金	106,870	授業目的公衆送信補償金
合計	154,971,884	

○事業の効果

- 教職員用端末の更新及び教育システムのサーバ等の更新に伴い、セキュリティの強化及び端末使用の利便性の向上を行い、教職員が端末を利用しやすい環境を整備できた。
- ICTを活用するために必要なセキュリティ対策等を行うことで、児童生徒や教職員が安心して情報やデータのやり取りを行うことができた。
- ネットワーク回線の変更を行うことにより、通信速度が向上し、インターネットへの接続がスムーズになった。

ウ、評価及び課題

GIGAスクール構想の推進を図るため、校長会と市教委で推進連絡会を立ち上げ、江津市独自の全体構想および情報活用の目標リストを作成し、全学校の教職員と共有した。この構想等に基づき引き続き児童生徒のICT活用が日常化するよう更なる推進を図っていく必要がある。

また、教職員の校務の効率化を図るために導入した校務支援システムの活用を進めていき、教職員の働き方改革につなげていく必要がある。

5. スクールソーシャルワーカー活用事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
1,559,623	1,487,243	1,055,000			432,243

ア、事業の目的・目標

不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の気持ちに寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して環境に働きかけ、状況の改善を図り、健全育成へとつなげる。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 2名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校や家庭に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の生徒指導担当指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、在籍校や家庭への訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の実績

- 支援の対象となった児童生徒数 小学生17人・中学生23人
 （うち、状況に改善が見られた人数 小学生7人・中学生14人）

費 目	決算額(円)	備 考
報 酬	1,109,500	スクールソーシャルワーカー（2名）報酬
職 員 手 当	335,123	期末勤勉手当
旅 費	23,260	家庭訪問、学校訪問、ケース会議
消 耗 品 費	2,860	研修テキスト代
負担金補助及び交付金	16,500	基礎研修受講負担金
合 計	1,487,243	

○事業の効果

困難さを抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や教育支援センターへ向うよう支援し改善がみられた。

学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の思いや状況を伝え、環境の改善に向けて連携を図ることができた。

悩みを抱えている保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう継続的に支援し改善がみられた。

複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためのネットワークづくりができた。

ウ、評価及び課題

様々な困難や問題を抱える子どもや保護者に寄り添い支援を行うとともに、学校や市担当部局などと連携し対応することにより解決や改善につながった事例もあった。

しかし、対応件数の増加に加え、単年度の関わりで解決することが難しく、長期的な支援を必要とするケースが多くなってきており、更なる相談支援体制の強化が必要である。

6. 指導主事配置事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
9,448,113	9,201,290		5,000,000		4,201,290

ア、事業の目的・目標

学校教育課に生徒指導担当指導主事と学力育成担当指導主事を各1名配置。生徒指導担当指導主事は、不登校やいじめ等の課題、特別な支援が必要な児童生徒の支援に対し学校、関係機関と連携して取り組み、学力育成担当指導主事は、教科全般にわたり教員の授業力向上のための学校訪問を行い、児童生徒の学力育成につなげる。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

業務内容	延べ訪問回数
生徒指導支援の学校訪問	89 回
授業力向上の学校訪問	114 回

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
職員手当等	456,113	指導主事時間外手当
旅費	113,480	学校訪問、諸会議、研修等
需用費	107,697	教材、教育資料等
負担金補助及び交付金	8,524,000	指導主事派遣負担金(2人分)
合計	9,201,290	

○事業の効果

家庭への働きかけが必要な児童生徒については、スクールソーシャルワーカーと連絡調整を行いながら福祉・医療等の関係機関との情報共有を元に対応することができた。

不登校(不登校傾向)の児童生徒への対応については、児童生徒の抱える様々な困り感に寄り添い、在籍校や関係機関と連携し、不登校状態の改善につながったケースがあった。

特別支援教育の校内支援体制の構築に向けて、学校訪問等を通して、教育課程や就学・進学で学校と一緒に考えながら指導・支援することができた。また、就学前から就学に向けて、適切な学びの場の提供について関係機関と連携を図りながら進めることができた。

「主体的・対話的で深い学び」のある授業実現の下、児童生徒に学習指導要領で求められる資質・能力が育成できるよう、各校に研究等とも関連付けながら授業改善に向けたアクションプラン作成を依頼した。本プランを基に継続的な学校訪問を行い、課題設定や指導方法等に関する教員の改善意識を高めた。また、各校の求めに応じ研修を実施し、新学習指導要領や学習評価の理解定着に努めた。

学力調査結果を学校ごとに分析し提供したり、「学力育成担当者会」においてプラン検証方法の説明や情報共有の場を設けることで、アクションプランのPDCAサイクルが推進された。

「フォローアップ研修」として採用2年目程度(講師を含む)までの経験年数の少ない教員を対象に訪問し継続的な支援を行うことで、授業力の向上につながった。

GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末利用法に関わる教職員研修、就学支援、幼小連携・接続に関わる推進会議、学校司書等を含む各支援員の研修等、他機関との連絡調整及び企画運営に関わり普及啓発を図ることができた。

ウ、評価及び課題

教育委員会に配置した指導主事の小中学校への支援、指導及び助言は、学校における生徒指導の充実や児童生徒の学力育成に大きく寄与しており、学校現場からも信頼されている。

学校訪問や「授業改善アクションプラン」の作成、実施やその検証を促すこと、ICTの効果的な活用方法の指導などにより、教員の授業改善に向けた意識改革が図られている。

今後、学力・学習状況調査の結果分析等から見られた課題に対して引き続き授業改善、家庭学習等に視点を当てた取り組みを各学校にさらに促していく必要がある。

また、不登校(不登校傾向)の児童生徒の状況は複雑化しており、学校や各関係機関との連携をさらに深めるとともに、相談支援体制の強化が必要である。

7. 小学校教育施設整備事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
136,900,039	132,473,330	24,329,000	91,900,000		16,244,330

ア、事業の目的・目標

緊急に対応する必要がある学校設備を更新・修繕することにより、安全・安心な学校生活が送れるよう、教育環境の改善を図る。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容及び実績

- 江津東小学校外壁改修他工事（管理棟）
校舎（S55年建設）の長寿命化と安心・安全な教育環境の確保のため、リフレッシュ工事を行った。
 - ・ 江津東小学校外壁改修
 - ・ 防火シャッター改修 4箇所 トイレ洋式化工事 一式
- 渡津小学校放送設備更新工事
校内の放送設備の劣化より、機器の更新工事を行った。
 - ・ 放送設備更新工事 一式
- 渡津小学校鉄棒更新工事
鉄棒の劣化により、児童がケガをする恐れがあったため更新工事を行った。
 - ・ 鉄棒更新工事 一式
- 江津東小学校エレベーター主ロープ、調速機ロープ取替工事
令和5年度の保守点検により主ロープのサビが見つかったため、更新を行った。
 - ・ 主ロープ、調速機ロープ取替工事 一式
- 郷田小学校音楽室廻り軒天工事
軒天の爆裂により、児童がケガをする恐れがあったため、軒天の補修工事を行った。
 - ・ 軒天工事 一式
- 高角小学校理科室空調設備更新工事
経年劣化により空調設備の不調があったため、空調設備の更新工事を行った。
 - ・ 空調設備更新工事 一式
- 郷田小学校図書室空調設備更新工事
経年劣化により空調設備の不調があったため、空調設備の更新工事を行った。
 - ・ 空調設備更新工事 一式
- 郷田小学校消防設備改修工事実施設計業務
安心安全な教育環境の確保のため、消防設備改修工事を行うための設計業務を実施した。
 - ・ 郷田小学校消防設備改修工事実施設計業務一式

費目	決算額(円)	備考
需用費 修繕料	721,270	渡津小学校舞台設備更新工事（バトン改修） 津宮小学校舞台設備更新工事（バトン改修）
委託料 実施設計業務委託料	2,609,200	郷田小学校消防設備改修工事実施設計業務
工事請負費 単独事業費 (建物附属設備)	5,202,560	渡津小学校放送設備更新工事 江津東小学校エレベーター主ロープ取替工事 津宮小学校放送設備更新工事
工事請負費 単独事業費 (維持補修)	8,045,400	郷田小学校図書室空調設備更新工事 郷田小学校管理棟音楽室廻り軒天工事 渡津小学校鉄棒更新工事 津宮小学校トイレ改修工事（汚物流し設置） 津宮小学校プール補修工事 高角小学校理科室空調設備更新工事
工事請負費 補助事業費（建物）	115,894,900	江津東小学校管理棟外壁改修他工事
合計	132,473,330	

○事業の効果

- ・ 必要な更新・修繕を行うことにより、教育環境の向上が図られた

ウ、評価及び課題

学校からの要望箇所を全て実施することは困難であるが、優先順位をつけて更新工事を実施している。老朽化によって引き起こる様々な事故を未然に防ぐことができ、安心・安全な教育環境を確保することができた。

市内学校施設については老朽化が著しく進んでいるものが多くあるため、負担の平準化を図り計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。

8. 西部統合小学校建設事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
312,223,000	63,834,193		42,522,000		21,312,193

ア、事業の目的・目標

第2次学校整備再編計画に基づき、津宮小学校及び川波小学校の統合を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

- 事業の内容
 - ・建設工事基本計画や地形及び用地測量等の実施。
 - ・仮称西部統合小学校統合準備委員会の開催。

- 事業の実績
事業費

節	内容	決算額(円)	R7繰越額(円)
手数料	不動産鑑定手数料	1,185,580	0
委託料	建設工事基本設計、用地測量、敷地造成測量等	61,863,775	194,410,765
その他	統合準備委員会の謝礼金、旅費等	784,838	578,042
合計		63,834,193	194,988,807

- 事業の効果
 - ・建設工事基本設計を行い、土地利用計画や校舎の配置計画などを決定することができた。

ウ、評価及び課題

令和10年4月の開校に向けて、事業を進めることができた。今後事業が遅れることがないように進捗管理を行っていく必要がある。

9. 小学校特別支援学級運営費

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
1,357,000	985,657				985,657

ア、事業の目的・目標

小学校の特別支援学級に在籍する、障がい等により特別な支援が必要な児童に対して支援を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

小学校7校に設置している特別支援学級及び津宮小学校に設置している通級指導教室において、支援を必要とする児童の困り感に寄り添い、個別対応による支援を行った。

○事業の実績

費 目	決算額(円)	備 考
需用費	588,908	消耗品、燃料費、光熱水費(津宮小 通級)
役務費	52,040	電話料、郵券代
原 材 料 費	95,481	工作等材料費
備 品 購 入 費	249,228	教材備品
合 計	985,657	

○事業の効果

障がいのある児童が安心して学習でき、児童の力を最大限に伸ばすための学習環境を整備することができた。

ウ、評価及び課題

特別な支援を必要とする児童の学習環境や教材等の整備を行うことにより、対象の児童が安心して学校生活を送ることができた。

特別な支援を必要とする児童は年々増加しており、障がいの種類も知的・自閉症情緒・弱視など多様であるため、それぞれの学級を運営するにあたっては、児童の状況に応じた教材等の更なる充実や人材の確保を検討する必要がある。

特別支援学級の環境整備についても今後も児童の将来を見据え、引き続き検討・見直しを図る必要がある。

10. 学校支援員等配置事業（小学校）

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳			
		国庫補助	地方債	その他	一般財源
45,673,000	40,861,707	3,861,200	5,000,000	157,513	31,842,994

ア、事業の目的・目標

それぞれの児童の状況に合った支援を行うことにより、学習の充実や学習に取り組む意欲を高めるとともに、教職員の負担軽減を図る。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

<外国籍児童生徒日本語指導員>

日本語の使用に著しい困難を有する外国籍等の児童に対して、日常生活及び学習活動が円滑に営まれるよう、適切な日本語指導を実施した。

<学校司書>

児童の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るために、市内の全小学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指した。

<特別支援教育支援員>

発達障がい等の教育的支援が必要な児童に対して、学校における日常生活上の介助や、学習支援を行う特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育の充実を図った。

<学力向上支援員>

児童の一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取入れを行うため、学力向上支援員を全学校へ配置した。

<ICT支援員>

ICT環境の充実を図る取り組みを支援するサポート体制を構築するため、ICT支援員を配置し、児童及び教員のICT活用をサポートした。

○事業の実績

(単位：人)

支援員の種類	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小	合計
日本語指導	0	0	0	0	3	0	0	3
学校司書	1	1	1	1	1	1	1	7
特別支援教育支援員	3	2	5	7	2	5	2	26
学力向上支援員	3	2	5	2	3	2	1	18
ICT支援員	1	3	4	5	0	1	1	15
計	8	8	15	15	9	9	5	69

費目	決 算 額 (円)					備考
	日本語指導員	学校司書	特別支援教育支援員	学力向上支援員	ICT支援員	
報酬	1,948,800	10,262,676	15,264,521	6,228,471	3,021,029	
共済費	3,545	1,831,656	1,563,026	495,598	205,145	社会保険料等
旅費	0	30,240	6,280	720	0	研修など
合計	1,952,345	12,124,572	16,833,827	6,724,789	3,226,174	

○事業の効果

各支援員の配置により、一人一人の児童に寄り添った支援を行うことができた。教職員のサポートを行うことにより、負担の軽減につながった。

ウ、評価及び課題

各種支援員の配置については、学校からの要望も強く、継続して配置するよう人材の確保が必要である。また、児童への適切な支援ができるよう、各種支援員の資質向上に向けた研修等の継続的な実施が必要である。

11. 中学校教育施設整備事業費

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
41,687,000	41,298,430		39,700,000		1,598,430

ア、事業の目的・目標

緊急に対応する必要がある学校設備を更新・修繕することにより、安全・安心な学校生活が送れるよう、教育環境の改善を図る。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容及び実績

- 江東中学校受変電設備更新工事
受変電設備の劣化により、更新を行った。
・受変電設備更新工事 一式
江東中学校受変電設備改修工事及び桜江中学校消火水槽交換工事設計
- 青陵中学校エレベーター制御基板他取替工事
点検で見つかった不具合等の修繕を行った。
- 桜江中学校舞台設備更新工事
緞帳とパトンの劣化を定期点検により指摘があったため、改修工事を行った。
- 江津中学校放送室空調設備更新工事
経年劣化により空調設備の不調があったため、空調設備の更新工事を行った。
- 江東中学校教室棟男子便所洋式化工事
トイレ洋式化の要望により和便器から洋便器に変更した。
- 江東中学校体育館男子便所洋式化工事
トイレ洋式化の要望により和便器から洋便器に変更した。
- 青陵中学校職員男子便所洋式化工事
トイレ洋式化の要望により和便器から洋便器に変更した。
- 青陵中学校体育館LED灯更新工事
LED灯の不点灯や点滅が目立ち、行事・授業に支障があったため更新を行った。
・LED灯更新工事 一式

費目	決算額(円)	備考
職員給	1,082,100	
需用費 修繕料	490,600	江津中学校舞台設備更新工事(パトン改修)
委託料 実施設計業務委託料	303,600	江東中学校受変電設備更新工事修正設計委託料
工事請負費 単独事業費 (建物附属設備)	32,301,390	江東中学校受変電設備更新工事 青陵中学校エレベーター制御基板他取替工事 桜江中学校舞台設備更新工事
工事請負費 単独事業費 (維持補修)	7,120,740	江津中学校放送室空調設備更新工事 江東中学校教室棟男子便所洋式化工事 江東中学校体育館男子便所洋式化工事 青陵中学校職員男子便所洋式化工事 青陵中学校体育館LED灯改修工事
合計	41,298,430	

○事業の効果

必要な更新・修繕を行うことにより、教育環境の向上が図られた。

ウ、評価及び課題

学校からの要望箇所を全て実施することは困難であるが、優先順位をつけて更新工事を実施している。老朽化によって引き起こる様々な事故を未然に防ぐことができ、安心・安全な教育環境を確保することができた。

市内学校施設については老朽化が著しく進んでいるものが多くあるため、負担の平準化を図り計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。

12. 中学校教育施設整備事業費（繰越）

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
31,214,820	6,216,300		6,200,000	16,300	

ア、事業の目的・目標

緊急に対応する必要がある学校設備を更新・修繕することにより、安全・安心な学校生活が送れるよう、教育環境の改善を図る。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容及び実績

(1) 桜江中学校消火水槽交換工事

桜江中学校の消火水槽が老朽化したため、消火水槽の更新が必要となった。

- ・消火水槽新設工事 1式
- ・消火水槽撤去工事 1式
- ・汚水排水ポンプ及び排水ポンプ用ブレーカー取替工事 1式

○事業費

費目	決算額（円）	備考
工事請負費 単独事業費 (建物附属設備)	6,216,300	桜江中学校消火水槽交換工事

○事業の効果

必要な更新・修繕を行うことにより、教育環境の向上が図られた。

ウ、評価及び課題

学校からの要望箇所を全て実施することは困難であるが、優先順位をつけて更新工事を実施している。老朽化によって引き起こる様々な事故を未然に防ぐことができ、安心・安全な教育環境を確保することができた。

市内学校施設については老朽化が著しく進んでいるものが多くあるため、負担の平準化を図り計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。

13. 中学校特別支援学級運営費

予算額 (円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
492,000	336,191				336,191

ア、事業の目的・目標

中学校の特別支援学級に在籍する、障がい等により特別な支援が必要な生徒に対して支援を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

中学校4校に設置している特別支援学級及び青陵中学校に設置している通級指導教室において、支援を必要とする生徒の困り感に寄り添い、個別対応による支援を行った。

○事業の実績

費 目	決算額 (円)	備 考
需用費	118,142	消耗品、燃料費
役務費	50,568	電話料、郵券代
原材料費	13,333	工作等材料費
備品購入費	154,153	教材備品
合 計	336,196	

○事業の効果

障がいのある生徒が安心して学習でき、生徒の力を最大限に伸ばすための学習環境を整備することができた。

ウ、評価及び課題

特別な支援を必要とする生徒の学習環境や教材等の整備を行うことにより、対象の生徒が安心して学校生活を送ることができた。

特別な支援を必要とする生徒は年々増加しており、障がいの種類も知的・自閉症情緒・病弱など多様であるため、それぞれの学級を運営するにあたっては、生徒の状況に応じた教材等の更なる充実と人材の確保を検討する必要がある。

特別支援学級の環境整備については今後も生徒の将来を見据え、引き続き検討・見直しを図る必要がある。

14. 学校支援員等配置事業（中学校）

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
21,324,000	17,242,345	1,654,800	5,000,000	68,256	10,519,289

ア、事業の目的・目標

それぞれの生徒の状況に合った支援を行うことにより、学習の充実や学習に取り組む意欲を高めるとともに、教職員の負担軽減を図る。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

<学校司書>

生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るために、市内の全中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指した。

<特別支援教育支援員>

発達障がい等の教育的支援が必要な生徒に対して、学校における日常生活上の介助や、学習支援を行う特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育の充実を図った。

<学力向上支援員>

生徒の一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取入れを行うため、学力向上支援員を全学校へ配置した。

<ICT支援員>

ICT環境の充実を図る取り組みを支援するサポート体制を構築するため、ICT支援員を配置し、生徒及び教員のICT活用をサポートした。

○事業の実績

(単位：人)

支援員の種類	江津中	江東中	青陵中	桜江中	合計
学校司書	1	1	1	1	4
特別支援教育支援員	2	1	1	2	6
学力向上支援員	2	1	8	2	13
ICT支援員	1	1	2	1	5
計	6	4	12	6	28

費目	決算額（円）				備考
	学校司書	特別支援教育支援員	学力向上支援員	ICT支援員	
報酬	4,559,292	2,939,918	5,925,372	2,754,928	
共済費	649,462	321,119	74,401	6,213	社会保険料等
旅費	8,340	1,240	2,060	0	研修など
合計	5,217,094	3,262,277	6,001,833	2,761,141	

○事業の効果

各支援員の配置により、生徒の個に応じた学習支援、生活支援を行うことができた。また、教職員の負担軽減にもつながった。

ウ、評価及び課題

各種支援員の配置については、学校からの要望も強く、継続して配置するよう人材の確保が必要である。

また、生徒への適切な支援ができるよう、各種支援員の資質向上に向けた研修等の継続的な実施が必要である。

15. 学校給食費

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
166,140,000	152,115,210		8,000,000	1,016,400	143,098,810

ア、事業の目的・目標

安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

配食実績	学校名	実施日数(日)	実施食数(食)
		郷田小学校	190
	渡津小学校	191	19,048
	江津東小学校	192	18,237
	川波小学校	192	19,765
	津宮小学校	190	66,096
	高角小学校	196	43,701
	桜江小学校	195	18,694
	江津中学校	189	43,413
	江東中学校	192	7,339
	青陵中学校	191	38,169
	桜江中学校	195	11,720
	江津学校給食センター	199	4,369
	桜江学校給食センター	200	1,034
	合計	2,512	311,135

○事業の実績

費目	内容等	決算額(円)
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	38,553,474
役員費	手数料、電話料等	3,405,802
委託料	給食車運転業務委託料等	12,304,402
使用料及び賃借料	CATV、印刷機使用料等	408,144
工事請負費	単独工事費	2,572,350
備品購入費	給食車、調理用備品等	7,880,590
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	86,833,248
公課費	給食車重量税	157,200
合計		152,115,210

○事業の効果

食物アレルギーのある児童生徒に対しては、平成29年3月に策定した「江津市学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき対応し、安全な給食を提供することができた。

また、年2回開催している食物アレルギー対応検討委員会では、学校、小児科医等を交えて情報共有を図るとともに、アレルギー対応の一連の流れについて意見交換を行うことで、アレルギー対応の充実が図られた。

ウ、評価及び課題

調理員の研修等を継続的に実施し、衛生対策の強化を図ることにより、安全安心な学校給食の提供ができた。また、運送業者にも指導を行い、ヒヤリハットの事例を給食センター、学校、教育委員会が共有し、支障なく給食の配送や提供もできた。

センターの設備については、経年劣化に伴うものも存在しているため、計画的な更新が必要である。

給食残渣は、令和6年度は約22.2トン発生しており、食べる教育の推進や、更なる献立や食材などの工夫が必要である。

給食センター職員の確保が難しくなりつつあり、賃金等処遇面の改善を検討する必要がある。

16. 物価高騰対策費（学校給食費）

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
20,000,000	18,794,756	8,000,000			10,794,756

ア、事業の目的・目標

物価高騰により食材の高騰が続く中、栄養バランスや量を保った安全安心かつ安定的な学校給食を提供するため、給食費の補助を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容及び実績

【江津市学校給食会補助金】

これまでどおり通常の献立により提供する食材について、値上げ等により給食費でまかなうことができない部分を江津市学校給食会に補助金として交付する。

- ・児童生徒数：小学生944人、中学生481人（令和6年5月時点）
- ・現行の1食あたり単価（税込み）：小学生275円、中学生310円

●事業費		(単位：円)
食材高騰分（江津）	16,799,660	
食材高騰分（桜江）	1,995,096	
合計	18,794,756	

●効果

- ・食材高騰分を給食費に転嫁することなく、子育て世代の負担を軽減することができた。
- ・児童生徒に必要な栄養価の確保と郷土料理や行事食など献立に工夫を凝らすことができた。

ウ、評価及び課題

食材費の値上げが続く中、国の交付金を活用して給食会に食材費の補助を行うことで、給食費の値上げを行わず、これまで同様の質・量・栄養価を保った給食を提供することができた。

しかしながら、この補助金に対する国の交付金がなくなると一般財源での対応となるため、国における交付金の継続や給食費無償化が求められる。

16. 社会人権・同和教育事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
1,324,000	924,719				924,719

ア、事業の目的・目標

同和問題をはじめとする人権問題を市民一人ひとりが正しく理解し、自らの問題として捉え、早期解決が図られるよう「差別をしない」「差別をさせない」「差別を許さない」姿勢とともに問題解決への行動力を培う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容、実績

概要	決算額(円)
<ul style="list-style-type: none"> ●人権・同和教育推進協議会の開催(7月8日(月)) ●県同和教育推進協議会連合会 研究会・研修会等への参加 ●県人権啓発指導者養成事業 研修会・講座の受講 ●市職員人権・同和教育研修会の開催(受講者数261人) ●教育集会所(波来浜ふれあい集会所)管理・運営 ●「人権・同和教育講演会」の開催 日時：8月2日(金) 13:30~15:10 場所：江津市総合市民センター 演題：「外国にルーツを持つ子どもたちに学びとつながりを ～日本社会に潜む3つの壁とは～」 講師：田中 宝紀さん (特定非営利活動法人青少年自立援助センター 定住外国人支援事業部) 参加者数：243人 	760,441
<ul style="list-style-type: none"> ●地域人権・同和教育推進協議会活動事業の実施 ・4地域を指定コミュニティとして委託(浅利・跡市・川越・郷田) 	135,278
<ul style="list-style-type: none"> ●島根県同和教育推進協議会連合会負担金 	29,000
合 計	924,719

○事業の効果

- ・人権・同和教育講演会は、「地域で暮らし学校に通う外国由来の子どもたちの困りごとを知りたい」という学校側の希望を受けて企画、開催した。講師による「3つの壁」の視点からの現場の実体験に基づいた具体的でわかりやすい内容は、参加者アンケートでも「有意義」という意見が多く、教職員をはじめ市民の気づきや人権意識の向上につながった。
- ・市職員人権・同和教育研修会は、「発達障がいの理解について」をテーマに開催。目に見えないがゆえに理解されにくい現状を抱える人への気づきを促すことができた。
- ・地域人権・同和教育推進協議会活動の委託事業は、3地域が新たに取り組みを開始。人権に関する講座や講演会への参加、地域において「災害と人権」の勉強会の開催、世代間交流クッキングや料理交流会(国際交流)などが展開され、地域における人権意識の醸成につながった。

ウ、評価及び課題

市職員研修のアンケートでは「生きづらさなど当事者からの話しということで言葉に重みがありより理解が深まった」という感想が多く、それぞれの気づきを促すことができた。また、「障害者職業生活相談員」や「江津市における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」、「合理的配慮」など、職員として知っておくべき事項について改めて考える機会となった。

地域人権・同和教育推進協議会活動の委託事業では、各まちづくり協議会で工夫しながら、自発的に取り組みを進めているが、地域ごとに活動状況に濃淡が見られた。地域ごとの好事例を積み上げていく。

17. 人権教育推進事業

予算額 (円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
712,000	451,329				451,329

ア、事業の目的・目標

「すべての市民の人権が尊重される、人権感覚豊かな明るい社会」の実現のため、学校・地域の人権教育を推進する。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容、実績

概 要	決算額 (円)
<p>●人権問題研修会・学習会等の開催 (中学校)</p> <p>11月30日 桜江中学校 「笑う門にはいい介護」参加者71人(全学年、教職員外)</p> <p>12月 5日 江東中学校 「『誰もが居心地の良い学校にする』にはどうすればいいか」参加者52人(全学年、教職員他)</p> <p>12月 9日 江津中学校 「多文化共生社会の”ドレッシング”に」参加者約230人(全学年、教職員外)</p>	194,880
<p>●人権問題研修会・学習会等の開催 (小学校)</p> <p>7月26日 郷田小学校 「スクールノマド(不登校児童生徒)についての現状と実際」参加者14人(教職員)</p> <p>11月25日 高角小学校 「その子らしさの種を育む」参加者15人(教職員)</p> <p>11月28日 渡津小学校 「だって、出会っちゃったんだモン」参加者約100人(全学年・教職員外)</p> <p>1月20日 津宮小学校 「どう生きるか」参加者55人(6年生・教職員)</p> <p>1月23日 桜江小学校 「生きる」ということ 参加者22人(6年生・教職員外)</p> <p>●人権・同和教育主任等研究協議会の開催 (3回)</p> <p>テーマ：8/2 外国にルーツをもつ子ども・12/19 インターネット上の人権侵害・2/25 学校と福祉の連携</p> <p>参加者：延べ66人</p>	
<p>●人権啓発作品展の開催 (応募数655点 表彰数32点)</p> <p>期間：12月4日～10日</p> <p>会場：ゆめタウンごうつ</p> <p>内容：人権ポスター・標語・メッセージ・作文の展示</p> <p>表彰式：各学校</p> <p>●人権啓発カレンダーの作成・配布 (2,500枚)</p>	187,149
●人権問題学習教材	69,300
合 計	451,329

○事業の効果

- ・人権、同和教育主任等研究協議会では、講義などで学んだ後、校種別などに分かれて、子どもとのかかわりを考える機会をもち、意見交換、情報共有を行うことで、教職員の学びが深まり、教職員同士の連携にもつながっている。
- ・人権啓発作品展の開催、児童生徒の作品を掲載した人権啓発カレンダーを配布することにより、保護者をはじめ多くの市民が子どもたちの感性に触れ、人権に関する気づきを深める機会となった。

ウ、評価及び課題

人権問題研修会・学習会等は、各学校が自主的に企画しており、児童生徒をはじめ、教職員や保護者などの学びが深まっている。今後も継続して取り組めるよう支援を行っていく。

主任等研究協議会では、講演会の後に分散会を開催し、意見・情報交換を行うことにより、テーマへの理解をより深める機会となっている。また、「有意義であり、職場に持ち帰って内容を共有したい」という意見もみられ、研修の効果が職場内にも波及している。より実効性のある学びを提供するために、テーマの設定にあたっては、現場でのニーズに耳を傾けていく必要がある。

19. 社会教育主事配置事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
5,583,000	5,275,150				5,275,150

ア、事業の目的・目標

社会教育主事1名を配置し、地域の人材育成や学校と連携した教育活動の助言と支援を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

- ・コミュニティ・スクールの導入推進と持続可能な仕組みづくり
- ・市内の教育資源を活用したふるさと・キャリア教育の充実
- ・地域コミュニティ活動における社会教育の充実と強化
 - 学校、地域コミュニティ交流センター等関係機関訪問回数 300回

○事業費

費目	金額(円)	備考
旅費	30,150	研修会参加、視察等旅費
負担金	5,245,000	派遣社会教育主事負担金
合計	5,275,150	

○事業の効果

- ①モデル校におけるコミュニティ・スクールの推進支援と4中学校への導入推進
モデル校となる津宮小学校の学校運営協議会の開催をコミュニティ・スクールコーディネーターと共に開催の調整等を行い、議論が深まるように支援した。また、市内4中学校への学校運営協議会の人選を行うなかで、学校の考えや地域の思いを受け止め、今後のコミュニティ・スクールが形骸化しないように、調整と助言を行った。
- ②江津市ふるさと・キャリア教育の取り組み支援と体制構築
業務委託先と連携しながら、小中学校の教育活動に関わる人材を学校と結びつけるコーディネーター役を担い、地域コミュニティや企業、行政等と連携した取り組みを企画したり、学校へ提案することで連携先との信頼を獲得しつつ社会教育への理解や、仕組みづくりを推進した。
- ③各地域コミュニティにおける人づくりの現状把握と支援
地域コミュニティ担当部署と連携した定期的な地域コミュニティ交流センターの巡回訪問を行い、各地域コミュニティ組織における取り組みの情報収集を行い現状把握を進めた。各地域での取り組みを知りながら、持続可能な取り組みとなるための情報提供や学習相談を行った。

ウ、評価及び課題

コミュニティ・スクールについては、全学校に設置するよう進めていく必要がある。6年度末までに3小学校、4中学校で学校運営協議会の設置準備が完了しているが、今後の継続的運営や効率的な活動には人材の確保、育成が課題である。

20. 図書館運営事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国庫補助	地方債	その他	一般財源
32,505,536	32,505,415			2,999,879	29,505,536

ア、事業の目的・目標

市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由で公平な利用ができる場を提供する。

イ、施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額(円)	備 考
報酬	15,000	図書館協議会委員報酬
旅費	4,040	図書館協議会委員旅費
需用費	1,342,692	光熱水費
役務費	84,804	自動車損害保険料・通信運搬費
委託料	28,043,000	指定管理料等
備品購入費	2,999,879	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	32,505,415	

●蔵書冊数

区 分	昨年度末蔵書冊数	受入図書	除籍	令和6年度末 蔵書冊数
本 館	74,309冊	1,594冊	336冊	75,567冊
桜江分館	16,886冊	278冊	0冊	17,164冊
計	91,195冊	1,872冊	336冊	92,731冊

●利用状況

区 分	本館	桜江分館	移動図書(本館内数)	計
開館日数	281日	281日		
入館者数	9,595人	2,877人		12,472人
利用者数	6,912人	1,371人		8,283人
登録者数	776人	132人		908人
貸出冊数(個人)	26,180冊	3,472冊	207冊	29,652冊
貸出冊数(団体)	6,827冊	274冊		7,101冊

●定例講座

講 座 等	会員数	開催日	開催期日又は定例日
古文書を読む会	19人	12回	原則第2土曜日14時～16時

●事業

事業名・内容	開催日・人数等
こども読書週間企画	4/1～5/16
①フライング50/②みはしたかこ原画展/③おはながみオブジェづくり	①57人、②と③は未集計
公共施設の美術品悉皆調査展覧会(文化財研究会)	4/6～4/28
美術品展示、ギャラリートーク、記念講演	約100人
リクエスト強化月間	6/1～6/29、10/6～10/30
利用者の要望を重点的に募集し、可能な限り購入する	前期67点、後期42点購入
夏休み企画	7/19～8/30
①図書館探検&納涼朗読会/②としょかん縁日/③浴衣でとしょかん	①20人、②未集計、③4人
あなたの図書館を考える座談会	8/26 16人
図書館まつり	10/6～10/30
①本のリユース市/②あなたが選ぶ図書館の本	①未集計 ②42点購入
③消しゴムはんこでつくる蔵書印/④展示「50歳の50冊」「懐かしの写真	③7人 ④未集計
福ぶっくろ：書名を隠した状態で3冊セットの本の貸し出し	本館1/5～18、分館1/5～16
HAPPY♪ラッキー☆福ビッキー：本を借りた人限定のくじ引き	本館1/5、分館1/5～6
ゲーム&かるた大会：ごうつ(52)かるたや他の貸出用ゲームを活用	1/25 15人
雑誌の付録もらっちゃおう!抽選会	2/1～27
購入している雑誌の付録を当選者へプレゼント	応募総数346枚、当選者15人

○事業の効果

従前の蔵書の充実と整理、文化活動への支援、広報活動等に加え、趣向を凝らした開館50周年事業などを行い、引き続き図書館利用者の確保・利便性の向上を図っているが、利用者は減少傾向となっている。

ウ、評価及び課題

独自の取り組みにより利用者への利便性や、小さいながら魅力的な読書推進の活動を行っている。こうした、江津市らしさを活かした図書館・資料館建設への取り組みを今後も進めていきたい。

21. 社会教育活動費

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
1,212,806	1,002,120	226,000			776,120

ア、事業の目的・目標

生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。

イ、施策の内容、実績及び効果

1 出前講座 99,330 円

○事業の内容

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけ説明する。

○事業の実績

・実施件数および参加者数

令和6年4月～令和7年3月 137件 3,051人

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	備考
需用費	99,330	印刷製本費 (出前講座メニュー表)

○事業の効果

市民の行政制度などの理解が深まるとともに、担当職員の資質向上が図られている。

2 地域活動支援事業 500,000円

○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験、演習、見学など幅広い活動を行う。

実施主体： 江津市連合婦人会、各地域8婦人会

○事業の実績

・実施件数および参加者数

60件 2,934人

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	備考
委託料	500,000	地域活動支援事業委託料 (8地区地域活動200,000円含む)

○事業の効果

各地区の地域活動の中核となり、課題解決に資する取り組みを多岐にわたり実践している。

3 コミュニティ・スクール推進 340,790円

○事業の内容

・研修会の実施とコミュニティ・スクールコーディネーターの活動謝金

○事業の実績

・10/11にCSマイスターを招いた研修会を実施した。

・市内7つの小中学校へ学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールを導入した。

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	323,500	研修講師謝金 コーディネーター活動謝金
使用料及び賃借料	17,290	研修会場借上料

○事業の効果

学校運営の基本方針や教育目標を承認して、地域と共有するための学校運営協議会の設置が進み、教育の方向性を学校・家庭・地域が共有する仕組みが整いつつある。

4 その他 62,000 円

○事業の内容

・県公民館連絡協議会負担金

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	備考
負担金	62,000	島根県公民館連絡協議会負担金

○事業の効果

・負担金拠出により地域の社会教育活動の情報提供や研修情報等の取り組み支援をいただいた。

ウ、評価及び課題

出前講座は、地域団体の幅広い年齢において学習の機会の提供が図られている。今後もメニューの改善、参加構成団体 (民間を含む) の拡充、講座の充実を図っていきたい。

地域活動支援事業は、江津市連合婦人会に委託しており、各地域で防災・環境・消費者問題等をテーマとした学習会等に取り組み、地域全体の絆づくりに貢献している。今後も継続した活動支援を行っていきたい。

コミュニティ・スクールについては全ての学校に設置を予定しており、今後人材の確保、育成を行いながら進めていく必要がある。

2.2. ふるさと教育推進事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
930,000	930,000	930,000			

ア、事業の目的・目標

学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。

イ、施策の内容、実績及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。

地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。

小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の実績

	ふるさと教育の経費(円)		合計(円)
	報償費	活動経費	
郷田小学校	61,250	8,750	70,000
渡津小学校		70,000	70,000
江津東小学校	10,000	60,000	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校	22,400	47,600	70,000
高角小学校		70,000	70,000
桜江小学校	14,400	55,600	70,000
江津中学校	10,000	60,000	70,000
江東中学校		70,000	70,000
青陵中学校	52,000	18,000	70,000
桜江中学校	3,600	66,400	70,000
教育委員会事業費	12,000	148,000	160,000
計	185,650	744,350	930,000

○事業の効果(各校の実績報告より抜粋)

ジョブカフェを行い、さらに疑問に感じたことや、詳しく知りたいことなどを調べ、他者に伝えるためにレポートを作成し、全体で発表する場面を設定したことで、表現する力を身に付けることができた。

ふるさと(江津)が誇る企業や事業所に触れることで、ふるさと(江津)に対する誇りを持ち、自分自身もふるさと(江津)のために、主体的に関わろうとする意欲と実践力を高めることにつながった。

自分の住んでいる地域や、友だちの住んでいる地域についての発見やその素晴らしさに気づく姿が見られた。また、地域の方々の思いに触れ、地域の大切さに気づき、誇りとして思う心情の育成につながった。

ウ、評価及び課題

各校で取り組んでいる地域の「ひと・もの・こと」を学ぶ学習活動について、江津市でのふるさと・キャリア教育の考え方が浸透してきており、地域の未来を担うための人づくりの活動として、定着してきている。

教職員向けの現地研修会を実施して、江津の教育素材を知ってもらうことや、コーディネート活動における伴走支援により、取り組みの深化を図っていきたい。

23. 放課後子ども教室推進事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
5,181,000	3,973,420	2,534,000			1,439,420

ア、事業の目的・目標

学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が健やかに過ごすことができる環境を整備するとともに、子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め、地域力のアップを図る。また、保護者自身も単に便利なサービスを受取る側に回るのではなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わることを推進する。

イ、施策の内容、実績及び効果

○事業の内容

- 放課後子ども教室推進事業

放課後等に地域のコミュニティ交流センター等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・郷田っこひろば	(郷田小学校区)	36日
・アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	16日
・渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	16日
・江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	9日
・跡市放課後子どもクラブ	(津宮小学校区)	200日
・有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	30日
・波っ子クラブ	(川波小学校区)	10日
・つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	244日
・角っこひろば	(高角小学校区)	36日
・桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	90日
・地球食堂	(津宮小学校区)	12日
		延べ 699日

○事業費の内訳

費目	金額(円)	備考
報償費	3,777,950	各教室コーディネーター等謝金
需用費	111,042	各教室消耗品、暖房用燃料等
役務費	84,428	総合賠償保険
合計	3,973,420	

○事業の効果

- 学校、家庭、地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が醸成されている。
- 放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりのなかで、相互に成長が見られた。
- 集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- 地域住民の参画：延べ 2,555人　子どもの参加：延べ 12,707人

ウ、評価及び課題

子どもと地域の大人が関わる大切な機会なので、今後も継続して活動を支援する必要がある。コーディネーター同士がそれぞれの取り組みにおける困りごとや、うまく行った関わりなどの情報交換・意見交換する場が必要である。地域の大人と子どもの関係性が双方にとって有意義な関わりとなるような助言や仕掛けを行っていききたい。

24. 放課後児童クラブ事業

予算額 (円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
93,148,000	85,668,515	36,838,000		16,600,900	32,229,615

ア、事業の目的・目標

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。

イ、施策の内容、実績及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額 (円)	備考
需用費	1,179	消耗品
	1,315,600	玄関建具、漏水、浄化槽、ロッカー移設等
役務費	73,037	通信費、手数料、火災保険料 他
委託料	83,133,819	運営委託
	1,144,880	I C T化事業委託、浄化槽等設備管理
合計	85,668,515	

令和6年4月1日現在

児童クラブ名	支援員等数	入所児童数 (人)				
		1年	2年	3年	4年～	合計
津宮放課後児童クラブ	6	20	24	23	5	72
高角放課後児童クラブ	9	26	24	11	1	62
江津東放課後児童クラブ	5	12	5	6	6	29
桜江放課後児童クラブ	6	6	6	8	4	24
渡津放課後児童クラブ	5	4	10	4	1	19
川波放課後児童クラブ	9	4	8	3	0	15
郷田放課後児童クラブ	3	5	6	2	3	16
計	43	77	83	57	20	237

○事業の効果

- ・放課後及び長期休業中の子どもの安全安心な生活の場を提供し、保護者の就労支援に寄与している。
- ・支援員の事務負担軽減を目的とした学童保育システムを導入し稼働させた。
- ・施設の利便性向上や、安全管理に必要な修繕や改修を行った。

ウ、評価及び課題

放課後における児童の居場所としてのニーズや関心が高まるなか、現場で働く支援員の確保が困難になっている。令和6年度から学童保育システムを導入し、効率的な児童クラブの運営を図り、支援員の負担軽減や保護者とのコミュニケーションの向上が図られた。

25. ふるさと・キャリア教育推進事業

予算額 (円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
4,600,000	4,600,000	2,300,000			2,300,000

ア、事業の目的・目標

地域の「ひと・もの・こと」をいかした学習活動を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、今の学びと未来の生活のつながりを常に意識して、子どもたちの自立を目指す教育を推進する。

イ、施策の内容、実績及び効果

○事業の内容

- ・地域や異文化との交流事業
- ・地域企業（団体）との連携事業（体験活動など）
- ・地域を知るための自然体験、学習活動
- ・職場見学、職場体験
- ・地域の教育力と連携した放課後等に行う学習活動
- ・地域の保健・教育施設（異施設種）との横や縦、斜めのつながりを創るための活動
- ・先進的な取り組みを実施しているキャリア教育に関する研究者・従事者を招いた講演

○事業費 NPO法人てごねっと石見に委託

費目	金額 (円)	備考
委託料	4,600,000	学習活動費・コーディネーター人件費等
合計	4,600,000	

○事業の効果（各校からの実績報告から抜粋）

・ふるさとの魅力に気づくとともに、ふるさとの抱える課題についても考える機会となった。企業や事業所の方、地域の方の生き様や思いに触れることを通じて、他人事ではなく、自分自身もしくは自分の住むふるさととしての課題意識が高まったことは大きな成果である。

・これまでの継続したふるさと学習の取り組みにより、地域の方や各事業所の方が、学校の取り組みに対して肯定的に受け止めていただいていることを感じている。そのため、学校行事やPTA活動において、積極的に関わりをもとうと考えておられる方が増加してきている。

ウ、評価及び課題

学校で行われる「ふるさと・キャリア教育」の取り組みの事業費支援と活動コーディネートを行っている。新しい地域人材の紹介や、他校の取り組み、企業の紹介などを通じて、これまで行ってきた活動のブラッシュアップや教員の思いを具現化するための支援を行っており、活動の深化につながっている。

現在導入を進めているコミュニティ・スクールによる地域とのさらなる連携・協働が課題となる。

26. 教育の魅力化推進事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
10,900,000	10,900,000	7,600,000			3,300,000

ア、事業の目的・目標

学校・家庭・地域の連携を図りながら、幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学校という「校種の壁」を越えた一体的・系統的な教育活動を展開し、地域の特色を活かした「教育の魅力化」に取り組む。

イ、施策の内容、実績及び効果

○事業の内容

- ① 市内県立高校3校の相互の連携や、地域と連携した活動を円滑に行うためにコーディネーターを配置し、高校の魅力化を推進する。
- ② 市内県立高校の魅力化の推進に併せて、市内全域における「ふるさと・キャリア教育」の取り組みを総合調整し、「教育の魅力化」に対する地域の機運を醸成する。

○事業費

費目	金額(円)	備考
報償費	2,500	コンソーシアム役員会出席謝金
旅費	7,980	コンソーシアム役員旅費
需用費	187,006	消耗品、広報印刷費
役務費	22,264	郵券代
使用料	80,250	役員会等会場借り上げ料、印刷機利用料
委託料	10,600,000	高校魅力化コーディネーター業務 コンソーシアム運営業務
合計	10,900,000	

○事業の効果

各校のグランドデザイン実現に向けた取り組みとともに「ふるさと・キャリア教育」による江津市を担う人材育成を進めている。

令和6年度は、各校でおこなわれる地域と連携した特徴的な教育活動の情報発信を行いながら、異校種連携によるインクルーシブ教育の構築、中高連携の促進、新設校の魅力化をテーマとして、役員会でのワークショップや、中学校校長会との連携、清和養護学校との協議を行った。

ウ、評価及び課題

地域と連携した活動が、よりブラッシュアップされ定着化してきている。古民家イベントなど、単発のイベントに終わらず、そこにつなげるための学習サイクルが完成しつつあるので、地域で学生が学ぶ仕組みと体制を構築していくことが今後の課題である。

地域で学生が活躍することで、地域の活性化にも寄与する取り組みなので、効果的な事業推進が図られるように今後も支援していくことが必要となる。

27. 子ども・若者総合相談窓口事業

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
9,954,000	8,722,146	3,508,000		25,711	5,188,435

ア、事業の目的・目標

青少年を取り巻く環境が複雑化する状況を鑑み、総合相談窓口を設置することにより、従来の個別分野における縦割りの対応ではなく、ひきこもり・ニート・発達障がいなど総合的な支援に繋げる。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

- ① 社会生活を円滑に営む上で困難を有する青少年を支援に繋げるための相談窓口を設置し、相談に応じて、庁内外の支援担当部署と協議を行い早期の支援に繋げる。
- ② 概ね39歳以下の子ども・若者が、ゆっくり心身を休めたり、したいことに取り組むなど、自分のペースに合わせて自由に過ごす居場所を確保する。
- ③ 子ども・若者に社会を体験する機会を提供するために、協力事業所の開拓などのコーディネートを行う。

○事業の実績

費目	金額(円)	備考
報酬	3,277,450	相談員報酬
職員手当等	1,011,248	相談員手当等
共済費	665,497	相談員共済費
旅費	9,000	相談員旅費、関連事業所視察旅費
役務費	58,951	電話代
委託料	3,700,000	居場所「ときまち」委託料
合計	8,722,146	

○事業の効果

【子ども・若者相談窓口】

- ・相談窓口を社会教育課に設置1か所 相談件数3件
- ・関係機関へつなげるなどの対応を行った。

【委託事業 居場所「ときまち」】

- ・子ども・若者が自由に過ごせる居場所「ときまち」を江津町の本町地区にある「タウンスペースときわ」に開設。
- ・開所日 毎週火・金曜日 9時から15時まで開設
- ・利用実績 利用実人数20人 延べ人数478人
- ・活動実績 居場所の開所、スタッフ2名体制でゲーム、遠足、外遊びなど利用者の状況に応じてメニューを提供。

【協力事業所の開拓】

- ・令和5年度末10事業所 令和6年度末4事業所 1事業所廃止 計13事業所

ウ、評価及び課題

令和3年5月に設置した相談窓口では、相談を受けた案件は必要に応じて庁内の関係課へ情報提供等を行い、支援に繋げている。第3の居場所「ときまち」の利用が進んでいるが、さまざまな状態の利用者があるなかで、居場所としてどのような環境を整えるかが課題となっている。

28. 埋蔵文化財発掘調査事業

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳			
		国庫補助	地方債	その他	一般財源
4,907,000	3,502,788	1,750,000		6,814	1,745,974

ア、事業の目的・目標

埋蔵文化財の適正な保護及び文化財保護意識の普及啓発を図る。

イ、事業の内容、実績及び効果

○施策の内容

文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取り扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、江津市内の詳細分布調査の必要な遺跡について調査し、その結果を報告書にまとめる。

○事業の実績

●国庫補助事業1/2補助

- ・ 内 容：試掘調査、詳細分布調査報告書作成
- ・ 期 間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ・ 補助金額：1,750,000円

費 目	金額 (円)	備 考
報 酬	2,078,955	パートタイム会計年度任用職員報酬 (延べ267人)
共済費	41,510	労災保険料
謝礼金	30,000	調査指導
需用費	1,153,523	消耗品費・燃料費、調査報告書印刷製本費
役務費	198,800	調査報告書送料、重機使用料
合 計	3,502,788	

○事業の効果

市内で実施される開発事業について、埋蔵文化財の有無を確認した。
平成30年から未製作だった調査報告書をまとめることができた。

ウ、評価及び課題

夏季の作業が熱中症対策の観点からも困難になっており、年内のスケジュールを適正に組むために、市内における開発事業を事前になるべく正確に把握する必要がある。

29. 総合市民センター費

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳			
		国県補助	地方債	その他	一般財源
37,864,000	37,769,226		2,800,000		34,969,226

ア、事業の目的・目標

江津市総合市民センターの維持管理と、各設備の修繕・改修工事を行う。

イ、事業の内容、実績及び効果

○事業の内容

江津市総合市民センターの維持管理は、指定管理に関する基本協定に基づき指定管理者と分担し、市では大規模な改修・修繕工事を行っている。

○施設利用状況

開館日	件数	入館者数	料金収入
310日	316件	29,444人	8,851,860円
利用件数月平均		26件/月	(R5:27件/月)
利用者数月平均		2,453人/月	(R5:2,144人/月)

○事業の実績

費目	金額(円)	備考
需用費	110,000	手洗い器取替
	121,000	バリアフリーストレイル修繕
役務費	82,926	火災保険料
委託料	33,690,000	指定管理料
工事請負費	299,200	駐車場整備工事
	1,402,500	自動給水装置更新工事
	804,100	誘導灯取替工事
	605,000	舞台吊物電気設備更新工事
	434,500	敷地内遊具撤去工事
	220,000	敷地内ベンチ更新工事
合計	37,769,226	

○事業の効果

施設・設備の改修を行うことで、利用者の利便性を高めることができた。

ウ、評価及び課題

施設・設備の改修を行うことで、長寿命化を図ることができた。

開館後25年以上経過し、建物・施設内設備ともに老朽化している。定期点検等による施設の機能維持や安全対策を、優先順位をつけながら今後も計画的に実施していく必要がある。